



学校だより



令和5年11月30日

12月号

調布市立第一小学校

校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

響いた！一小の美しいメロディー！

副校長 山崎 清香

コロナ禍のため 1 年延期になっていたひばり音楽祭。今年度は予定通り実施でき、多数の保護者の方々に温かい拍手や励ましの言葉をたくさんいただきました。感謝申し上げます。

リハーサル前最後の練習、11月22日5時間目、チャイムが鳴り始める前。リズムに合わせて体を動かしたくなるほど、すてきな合奏が体育館から聞こえてきました。行ってみると6年生が練習中。皆、真剣に息を合わせて取り組んでいました。ずっと聴いていたいと聞き惚れていると…曲が終わり…担任の先生からの一言。

「自主練お疲れ様。さあ、練習始めよう。」

驚きました。先生からの指示があつての練習ではなく、子どもたちはすすんで皆と合わせることを行っていたのですから。その後も6年生は、実行委員の指示のもと発声練習をし、まるでプロの演奏家であるかのように表現することを楽しんでいました。

ひばり音楽祭実施にあたり、教員はねらいを設定します。その中の一つ目。「よりよい表現をめざして、自主的に取り組む力を育てる。」6年生は期待以上の達成を見せてくれました。

当日まで、担任や音楽専科は学年の子どもたちの良さを引き出す選曲をし、難しい曲にも挑戦させてきました。挑戦するからには、成果を

きちんと形にすること、さらに聴く人に思いを伝える合唱・合奏を創り上げることを目指し、仲間とともに本気を出して取り組んでいました。現状に妥協することなく、「もうちょっと良くなろう！」と“プラス！”の挑戦を前日まで続けた結果、素晴らしい演奏を披露できたのだと思います。6年生代表の「終わりの言葉」の中に「練習が楽しく毎日が充実したものとなった。」とありました。まさしく、音楽祭のねらいの2つ目である「みんなで協力して音楽を創り上げることの楽しさや喜びを経験する。」これについても見事達成です。

「ひびかせよう 一小の美しいメロディーを」このスローガン通り、当日は、どの学年も一人一人が自分の力を發揮し、すてきな音楽を奏でることができました。さらに、他学年の演奏を聴き、自然と手拍子をしたり、身体を動かしたりと、鑑賞することも楽しんでいました。

今回のひばり音楽祭を通して、子どもたちが「やればできる！」という自信をもち、「音楽って楽しい！」「音楽大好き！」と思ったのであれば、これ以上の喜びはありません。

第一小の子どもたちが心豊かに生き生きと成長していくよう、これからも皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

12月の生活目標 身のまわりの整理整頓をしよう

学習用具など、自分の持ち物を整理できているでしょうか。学習の準備を手際よくするためにも、整理整頓の習慣を育て、物をなくしたり落としたりしないで大切にする気持ちを養っていきたいと思います。